

受賞者氏名	佐野竜平	
所属	現代福祉学部	
受賞年月日	2022 年 2 月 8 日	
国内・国外	国外	
授与機関等名称	パキスタン・シンド州政府	
受賞名	Disability and Empowerment Award	
受賞(研究)内容詳細	<p>2008 年以來、パキスタンに生きる多くの障害者や家族を主な対象として、政府、障害者団体、大学、民間企業などと連携して様々な国際協力の活動を同教授は促してきた。具体的には、2 段階に分かれている。</p> <p>第 1 段階(2008 年～2016 年):パキスタンに何度も足を運び、マンガやドキュメンタリー動画、その他広報物の制作を通じたコミュニティ現場でのエンパワメント活動が行われた。開発途上国であるパキスタンのコミュニティに生きる障害者団体のネットワーク強化を念頭に、そのプロセスの中でこうした活動は行われてきた。例えば、国語のウルドゥー語および公用語の英語を用いた上で、障害者がアクセスしやすい形かつ住民参加によるマンガが制作され、障害理解の促進・啓発につながっていった。なお、聴覚障害のある当事者自身が他の障害当事者を主人公にしたマンガを描いたのもパキスタン史上初めての試みであった。</p> <p>第 2 段階(2017 年～2022 年):オンラインの仕組みが整ってきたことを活かして、シンド州政府・障害者団体・パキスタンの大学生と日本の大学生が連携する形で諸活動が実施された。パキスタンと日本双方で行われたオンラインでのワークショップや講義では、毎年のように発表や交流する機会が設けられた。特に 2021 年半ば、コロナ禍で行われたアップサイクルによる透明マスクづくりは、コロナ禍のパキスタンから「口の形や表情からコミュニケーションをとる聴覚障害のある人たちの情報伝達に影響を及ぼしている」と同教員の元に相談があったことがきっかけである。そこから、国際協力活動に興味を寄せる大学生 10 名以上に声をかけ、使い切れていなかった着物、ビニール傘や靴紐などを材料に透明マスクを制作した試みへつなげていった。現地からのフィードバックを受けて改良し、いわゆる「アップサイクル」による手作り透明マスクが寄贈された。受け取ったシンド州の聴覚障害当事者グループはここからヒントを得て、自ら透明マスクの制作を通じてコロナ禍でのコミュニケーションへの理解を深める活動を拡大させていった。</p> <p>なお、同賞状に記載された文言の要旨は以下のとおり。 パキスタン・シンド州への多大な貢献に感謝します。あなたは、既成概念にとらわれない素晴らしいイノベーターです。多くの障害者や同僚が、あなたの創造的な仕事ぶりを賞賛しています。 パキスタンのシンド州における障害と開発に対するあなたの献身的な努力。あなたは、パキスタンのシンド州政府から発行される「Disability and Empowerment Award」に値すると合意されました。 過去 10 年以上、私たちはあなたがシンド州の障害者のために多くのことを行ってきたという事実を知っています。改めて、あなたが国際的に見ても素晴らしい教授の一人であることを強調させていただきます。</p>	